

【議事要旨】

会 議 名	令和3年度第2回港区指定管理者選定委員会
開 催 日 時	令和3年7月29日（木）午前9時00分から午前11時45分
開 催 場 所	庁議室
委 員	<p>■出席者</p> <p>（委員長）大澤企画経営部長 （副委員長）新宮総務部長</p> <p>（委員）西川企画課長、宮本区役所改革担当課長、若杉財政課長、荒川総務課長、加茂契約管財課長</p> <p>（説明員）金田高齢者支援課長、大久保麻布地区総合支所まちづくり課長、成清赤坂地区総合支所まちづくり課長、近江芝浦港南地区総合支所まちづくり課長</p>
事 務 局	企画経営部企画課
会 議 次 第	<p>審議事項</p> <p>1 指定管理者の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 港区立虎ノ門高齢者在宅サービスセンター【資料1】 ・ 港区立特別養護老人ホーム白金の森、港区立高齢者在宅サービスセンター白金の森、港区立地域包括支援センター白金の森【資料2】 ・ 港区立特別養護老人ホーム港南の郷、港区立高齢者在宅サービスセンター港南の郷、港区立地域包括支援センター港南の郷、港区立ケアハウス港南の郷【資料3】 ・ 港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター、港区立南麻布地域包括支援センター【資料4】 ・ 港区立台場高齢者在宅サービスセンター【資料5】 ・ 港区立北青山高齢者在宅サービスセンター、港区立北青山地域包括支援センター【資料6】 ・ 港区立芝高齢者在宅サービスセンター、港区立芝地域包括支援センター【資料7】 ・ 麻布地区港区立公園・児童遊園【資料8】 ・ 赤坂地区港区立公園・児童遊園【資料9】 ・ 芝浦港南地区港区立公園・児童遊園【資料10】
配布資料	<p>（公募施設）資料1から資料10</p> <p>資料○ 指定管理者候補者選定調書</p> <p>資料○-2 指定管理者候補者選考委員会報告書</p> <p>資料○-3 指定管理者応募者提案内容の比較表</p> <p>資料○-4 職員配置表</p> <p>資料○-5 選考委員会採点表</p> <p>資料○-6 選考委員会議事録</p> <p>資料○-7 指定管理者指定申請書（他、添付書類等）</p>

会議の結果及び主要な意見	
(意見者)	1 指定管理者の選定について
金田高齢者支援課長	・港区立虎ノ門高齢者在宅サービスセンター (資料について説明)
若杉委員	資金・収支計画について、過去の指定管理者検証シートの決算額よりも全般的に提案金額が上がっている。特に事業運営費と施設管理経費が相当額上昇している。歳出合計の総額が1億2,000万円弱だったが、提案金額では、4,000万円以上上がっており、歳入も、利用料金分は順調に推移するとしているが、指定管理料も増加している。過去の指定管理料は4,000万円程度で、令和3年度当初予算も4100万円程度であるのに対し、資金・収支計画は7,000万円弱となっており、6割以上増加していることから、どのように評価されたか、また、増額の要因を確認させていただきたい。
金田課長	見積は、令和3年度の現在の指定管理料に比べて、大きく上昇している。最も大きな要因は事業運営費である。今後5年間の想定人数を見込んで計上しているが、虎ノ門高齢者在宅サービスセンターは、過去5年間で利用実績が大きく伸びている。今の上昇率でいくと、今後5年間も、かなり実績が上がるのではないかと事業者は見込んでおり、今後、利用実績が他の施設に比べて伸びていくところも考慮していると思われる。しかしながら、見積金額は、事務局から見ても上がっていると思われるため、協定を締結する前に事業者と調整していきたい。
若杉委員	他の案件でも、人件費や施設管理経費が上昇している案件は、一定程度、予算査定や年度協定締結の段階で、提案上限を考慮しつつ、各年度の予算は査定、交渉することに対応していくことにはなる。ただし、今回の虎ノ門高齢者在宅サービスセンターについては、指定管理料が6割以上上昇しており、所管課としても十分な説明が必要になる。
大澤委員長	過去の決算額と提案金額を比較し、よく確認しておく必要がある。全体経費が膨らんでいる理由が、選定調書の選考のポイントと結びついており、理由が明確であればよいが、今回の提案金額は大幅に増加している。
荒川委員	提案金額については、確認し、精査しなければならない。応募事業者が1者しかいないこともあり、より精査が必要となる。
若杉委員	一次評価の採点表を見ると、⑱受託経費見積書についてという項目の配点がさほど高くないと感じる。
大澤委員長	選考委員会で、見積に関する特段の議論はあったか。
金田課長	選考委員会において、指定管理料のその他経費については指摘があったが、大部分を

	<p>占めている事業運営費や職員人件費の上昇についての特段の意見はなかった。職員人件費は清算項目であり、事業運営費については非清算項目ではあるが、事業を実施しなかった分は返還してもらう。年度協定を締結する段階で、事前に精査はするが、予算額が余れば返還することにはなる。</p>
荒川委員	<p>清算されるとしても、区として本来他に回せたはずの予算額が回せないことになるから、入口の段階で整理しておく必要がある。</p>
金田課長	<p>今後、予算要求、年度協定締結の各段階において、しっかりと精査していきたい。</p>
西川委員	<p>障害者雇用率が未達成になっているが、達成に向けて、事業者にどのように働きかけていくか。</p>
金田課長	<p>障害者雇用率が現在 2.11%となっており、若干達成できていない状況である。理由としては、指定管理者候補者が医療法人であり、障害者を雇用して従事していただく職種が非常に限られていることが挙げられる。職員が有資格者である必要があることから特定の職種に限られており、なかなか難しいと聞いている。</p> <p>法人としては、できるだけ速やかに達成できるように、改善に向けて現在取り組んでいると聞いている。</p> <p>今後は、障害者雇用率の達成に向け、事業者との定例的なモニタリングや会議等を通じて、定期的かつ継続的に働きかけていきたい。</p>
西川委員	<p>選考委員会報告書では、医療法人の強みを活かした提案がされていると記載があったが、医療法人の強みは具体的に何か。</p>
金田課長	<p>新型コロナウイルス感染症対策が挙げられる。施設の中で、様々な感染症対策が求められている。今回の公募時の審査基準の中でも、感染症対策を重点項目に位置付けている。この指定管理者候補者は、法人内に感染症の感染制御チームというものがあり、感染管理認定看護師という職種がある。感染が発生した際には、法人として、感染管理認定看護師がバックアップをして、感染症対策に当たるという点が一つの強みである。また、法人として、PCR検査をすぐに実施できる病院を持っているので、職員や利用者が濃厚接触者にならない場合でも、法人の判断としてPCR検査が必要であれば、すぐに法人のバックアップのもとにPCR検査が実施できる。そういった強みも評価されているところである。</p>
大澤委員長	<p>この医療法人の病院は、都内にもあるのか。</p>
金田課長	<p>都内にもある。</p>
新宮副委員長	<p>選考委員会報告書の(3)選考経過について、施設長の資質能力は備わっており、運営を任せて問題ないと感じたとあるが、会議録を見ると、否定的な意見の委員もいるので、報告書の記載内容を見直すすべきではないか。</p>

金田課長	資料の記載内容を見直す。
荒川委員	職員配置表について、高齢者在宅サービスセンターの場合、法律等で職員の体制については何か定められているのか。
金田課長	デイサービスは東京都が配置基準を定めている。
荒川委員	この職員配置表は基準を満たしているということか。
金田課長	そのとおり。
荒川委員	この職員配置表は、来年度の予定として示されている。現行も同じ事業者が運営していると思うが、人数の欠員はないという理解でよいか。
金田課長	そのとおり。
宮本委員	第3回選考委員会において、地域への理解がないという指摘をした委員がいた。現行事業者でもあり懸念として挙げられているが、なぜ地域理解が進まないと判断をされたのか。また、区としてどのように指導していくのか。
金田課長	<p>第3回の選考委員会の中で、今後、この虎ノ門地域の特性を踏まえ今後どのように運営していくかという趣旨の質問を委員がしたところ、ヒアリングであまり明確な答えが返ってこなかった。</p> <p>しかしながら、日々のサービス提供において、利用者の方からは、施設事業者について非常によい評判を聞いている。</p> <p>利用者一人一人に対するサービス提供という点では、十分事業運営できている事業者ではあるが、やはり、施設の担当者、施設長がどのようにそこに住まれている方の地域性を理解していくかというところは重要である。区の高齢者施策も含めて、今後、どのように高齢者福祉の向上を図っていくかという点で、区職員や指定管理施設職員を対象とした研修や勉強会に参加してもらうことで、この地域性を理解していただくようなフォローをしていきたい。</p>
若杉委員	同じ事業であっても施設によって費用が異なることがあるため、個別の施設の予算査定で精査していきたい。
大澤委員長	無駄な事業を実施することがないようにし、経費については引き続き精査するという点で、選定委員会としては了承したいと思うがよろしいか。
(全員)	異議なし

